

# 総 合 部 会

## 研究主題

生きる力を育てるための総合的な学習の時間の進め方

### 1 主題について

学習指導要領の本格実施による時数制限の中、より一層充実した活動を行うため、昨年度に引き続き、自分で課題を見付け、生き生きと活動する子どもを育てたいと考え、この主題を継続し、研究を進めてきた。

### 2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容
4月13日	第1回総合研究会、研究テーマ、研究会の持ち方と授業者決定
11月10日	授業研究会ならびに各校の実践や指導上の悩みについての情報交換

### 3 研究内容

#### (1) 授業研究

- ・期 日 平成23年11月10日(木) ・会 場 有浦小学校
- ・単元名 ふるさと大館から世界へ ～未来の大館をつくろう～

#### ① 授業者から

- ・ポスターセッションは、児童が話す機会を作るために取り入れた。何回か繰り返しているうちに、レベルアップしてきた。
- ・4年生なりに一生懸命に考えていた。子どもらしいアイデアがいっぱいつまったマップを完成させることができた。
- ・マップを開いたとき、部分的な感想が出るだろうと予想していたが、総括的な感想が多く出た。最後の感想と重なってしまった。

#### ② 協 議

- ・子どもたちは、自分たちのアイデアを聞かせるために一生懸命に声を出していた。難しい質問にも答えようとしているところがよかった。
- ・大人数での発表のとき、どうやって評価したらよいのか。友達同士の評価や自己評価ができるのではないか。
- ・マップを開いたとき歓声があがったところから、子どもたちに達成感があっただろう。総括的な感想が多かったのは、ポスターセッションのときに部分的な感想が出てしまったからではないか。
- ・終末の振り返りで、まちづくりに自分はどうか参画していけばいいかという感想を書かせてはどうだったか。
- ・「書く」というまとめで終わったが、グループ内でそれぞれの思いを語らせてもよかったのではないか。
- ・本单元のような取り組みこそが大館市のキャリア教育といえる。



【ポスターセッション形式の発表】

## (2) テーマ研究（実践の情報交換）

## ① 各校の実践について

- ・3年生では地域に根ざしたもの、4年生では福祉にかかわるものに取り組んでいる学校が多い。
- ・どのようにしてキャリア教育の要素を組み入れていくのかというところに課題がある。

## ② 指導上の悩みについて

- ・ふるさと学習を進めるに当たり、学校全体としての柱が必要である。
- ・課題のもたせ方やまとめ方に問題がある。単発的な体験で終わってしまうことがある。
- ・キャリア教育をどう位置付けたらよいか。キャリア教育を加味した単元づくり、キャリア教育を加味した年間計画の作成が課題である。



【完成したマップをみて感想発表】

## (3) 指導助言（一関 光 指導主事）

## ① 授業について

- ・探究活動の過程を押さえた授業である。
- ・自然体験，ものづくり活動，見学・調査など，多様な活動を取り入れている。特に五感を使った活動は，学習の深まりや学習意欲の向上が期待できる。
- ・ポスターセッションを繰り返したことで，児童の発表が自分の言葉になっていた。
- ・単元の最後に作成するカルタをどのように活用するかを明確にするとよい。
- ・育てようとする資質，能力，態度を単元計画や本時の計画に入りたい。
- ・マップを見た直後の感想発表は，「よりよい大館の姿を考える」という本時のねらいに直結する場面なので，ゲストティーチャーの講話の感想と分けて評価するとよかった。

## ② 留意点について

- ・育てようとする資質，能力，態度を明確化すること。学校全体で方針を定める必要がある。
- ・横断的，総合的な学習という特質を考え，各教科・領域等と双方向で関連を図りたい。
- ・取り上げる内容や対象は，各学年の系統性を考慮し，学習者の立場に立って設定する必要がある。できれば，小・中学校が連携して情報交換したい。
- ・ふるさと教育は，地域の人，物，事を学習に位置付けるもの。大館ふるさと・キャリア教育の特色は，「ふるさとへの愛着と誇りを育てる」「校種間の連携，学校・家庭・地域の連携」「0歳からの系統的なキャリア発達」「自立に必要な諸能力を育て，学びを生活に生かす」「未来の大館を担う人材，大館に貢献できる人材を育てる」等である。

## 4 成果と課題

## (1) 成果

- ・人，物，事に触れる中で，ふるさとの特徴やよさを知ることができた。
- ・地域に生きる方々の願いを知り，よりよいふるさとの姿を考えることができた

## (2) 課題

- ・児童の様々な活動場面に対応できる効果的な評価の在り方について工夫する。
- ・各学年の系統性や中学校とのつながりを考えた年間指導計画を作成する。
- ・探究活動時における効率的な引率体制を確立する。